

下関港のことがすごいぞ！ベスト3



1 世界一大きなタイヤの輸出
 (キリンの吉岡さんほど)(4.02m)
 ・アメリカ合衆国やオーストラリアには大型タイヤが輸出されている。

2 野菜・切花の輸入、日本一

下関港には、野菜、切花など新鮮なものが多く運ばれています。中でもおみず(全国の約100%)、梨(全国の約79%)、パプリカ(全国の約60.3%)の取り扱いは日本一。(下関税関支署調べ・平成26年)

3 コンテナのおどろく高さ

下関港で取り扱っているコンテナは、約170個！(平成26年)積み重ねてみると、海峡ゆめタワーの2つ分以上の吉岡さん！(440m)



最初に下関港をひらいたのは、おみずさんだて!



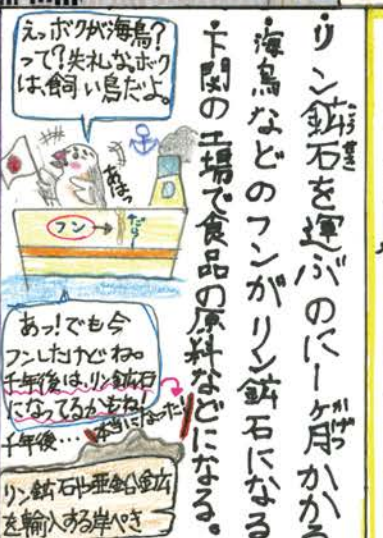
新しく作られた港へ長州出島(人工島)へ新鮮な魚もたくさん輸入されています。



韓国からやって来た、コンテナ船。

韓国から年々増える鮮魚運搬船。

南アフリカ共和国から下関港へリン鉱石を運ぶのに、船がかかる。海鳥などのフンがリン鉱石になる。下関の工場で食品の原料などになる。



下関港から南アフリカ共和国へ長州出島(人工島)では、日本で使っていた自動車のアフリカ(ケニア、タンザニア、南アフリカ)に輸出される。南アフリカ共和国に輸出する自動車は、ナバエがついていない。

下関市港務局の方へ
 下関港で大事なことは、新しい国際物流拠点長州出島です。海鳥の糞、つまりおみずさんがセルシール(紙)で包んで、東アフリカ地域の港に運ぶ距離が、全国の港の中で地理的に最も近いので、輸送コストが低いです。また、貨物検査体制も早いので、航空輸送よりも安く運ぶことができます。



感想・まとめ
 下関港は、年中無休で、日本と世界の間で人や物を運ぶ役割を担っています。たとえば、世界一大きなタイヤを輸出したり、リン鉱石が輸入されたりする私がおどろいたところは、自動車専用船に入れる車と車のすき間が大人のこぶし1/5しかないということです。

↑コジマ 8月3日に輸出された自動車の中にもコジマのバスがあった。



下関港研究パスポート 下関市港務局発行H28

下関港のことが、おみずさんだて! どれ どれ

海運と船と港の役割(下関版) 日本海運法学会発行H28